

## 当社がリリースした「ソーラーシェアリングによる太陽光発電事業開始について」が、平成 30 年 3 月 15 日の日本経済新聞に掲載されました

福島県で最大のミヨウガ栽培を、農地で農業をしながら太陽光発電をおこなう「営農発電」により避難解除された南相馬市で当社が運営。ソーラーシェアリングでは日本最大規模（11M）となり、原発被災地で再生可能エネルギーを構築するとともに、遊休農地の有効活用ならびに地域の雇用創出に寄与し、当該地のミヨウガの地域ブランド化にも取り組むことで復興に貢献します。

当社は、国内全域で再生可能エネルギーの他、アグリ事業にも注力しております。兵庫県養父市の国家戦略特区では、特区認定事業者として営農と再生可能エネルギー（バイオメタン）を組み合わせた事業を開始するなど、アグリ事業の新たな形に取り組んでおります。



**日本経済新聞**  
3月15日  
木曜日

▲該当記事抜粋

太陽光発電を行う「営農発電」に向けて発電設備のリリースが始める。福島県の農地で3月末に始まる国内最大の事業へ設備を貸し出す。営農発電は2013年に国の規制緩和で認められたが、3年ごとに事業の可否が審査されるため先行きを予見しにくく、大規模な開発が難しくかった。リリースを使う農地で農業をしながら太陽光発電を行う「営農発電」は、福島県南相馬市で行う営農発電事業に、リリースで太陽光パネルやパネルの設置に必要な架台などを提供する。発電出力は1万1千ワットで、営農発電としては国内最大となる。

営農発電へ設備リリース  
三井住友F&L  
三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、農地で農業をしながら太陽光発電を行う「営農発電」に向けて発電設備のリリースが始める。福島県の農地で3月末に始まる国内最大の事業へ設備を貸し出す。営農発電は2013年に国の規制緩和で認められたが、3年ごとに事業の可否が審査されるため先行きを予見しにくく、大規模な開発が難しくかった。リリースを使う農地で農業をしながら太陽光発電を行う「営農発電」は、福島県南相馬市で行う営農発電事業に、リリースで太陽光パネルやパネルの設置に必要な架台などを提供する。発電出力は1万1千ワットで、営農発電としては国内最大となる。